

フィードした2分後から濃縮液が得られる
循環のいらぬシングルパスTFF

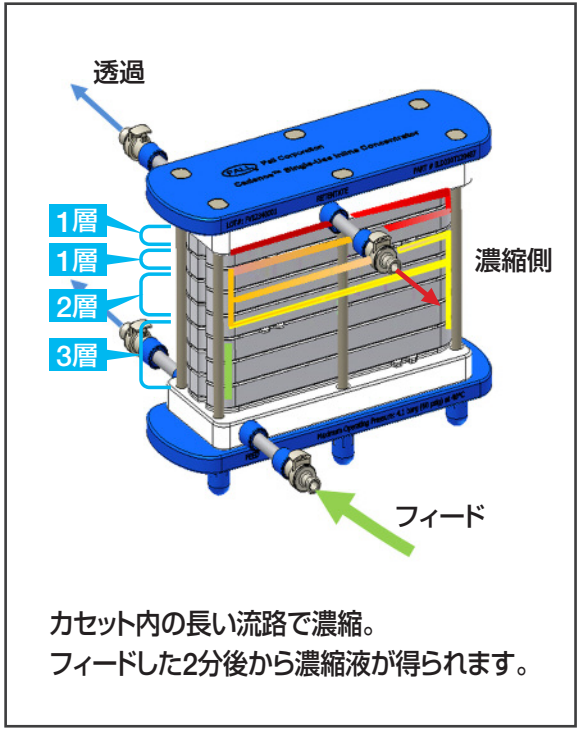
抗体医薬品用タンパク質濃縮システム

Cadence™ Inline Concentrator (ILC)



ILCの特長と利点	
ホルダー一体型、圧力ラインに接続するだけで、簡単に設置可能	
循環ループが不要	
少ないホールドアップ液量	
リンスに使用するWFI量が減少	
大きなタンクが不要、導入コストの低減	

モジュール	膜面積(m ²)	孔径(kDa)
Cadence ILC T01	0.065	10, 30
Cadence ILC T02	0.13	10, 30
Cadence ILC T12	0.7	10, 30
Cadence ILC T06	3.5	10, 30



プロセス液量(L)	1 - 2	50	100	200 - 500	700 - 900
Cadence ILC T01, T02	✓	✓			
Cadence ILC T12		✓	✓	✓	
Cadence ILC T06				✓	✓

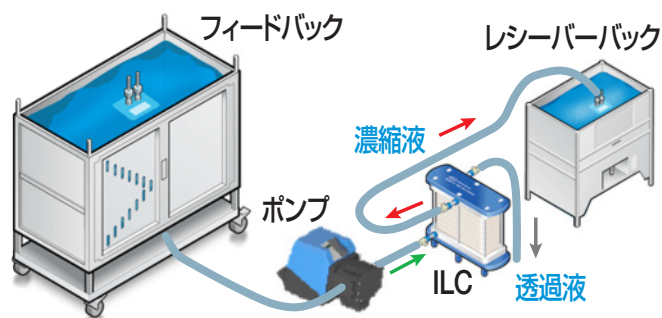
抗体医薬品用タンパク質濃縮システム

Cadence™ Inline Concentrator (ILC)

複雑なシステムは必要なし

- 最小限の機器で2~4倍の濃縮を達成
(大量のフィード液を1/2~1/4に縮小)
- 精製工程の直前・直後で使用することで
工程時間を短縮

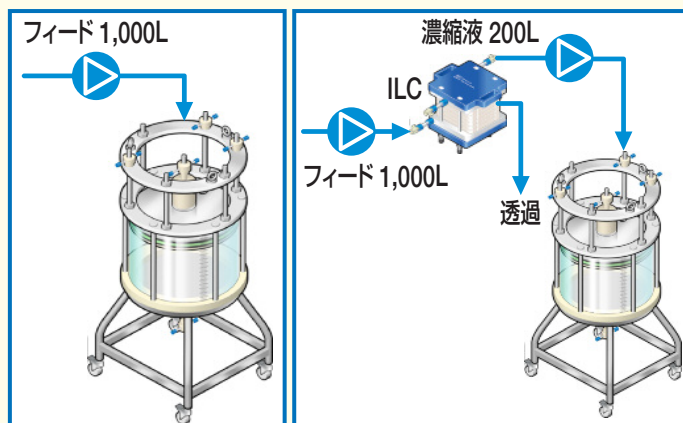
複雑なシステムは必要なく、ポンプのあとにホルダー付カセットをチューブでつなげるだけで使用可能です。



ケーススタディ

クロマトグラフィーとシングルパスTFFの組み合わせ

抗体プロセス液1,000Lのクロマトグラフィーを行うために必要なカラム容量についてのケーススタディです。クロマトグラフィーだけで処理するケースとあらかじめシングルパスTFFで濃縮してクロマトグラフィー処理するケースについて、4時間以内で処理できる条件の比較を行いました。



クロマトグラフィーだけのケースとシングルパスTFF濃縮を追加したケース

項目	クロマトグラフィー*	シングルパスTFF** +クロマトグラフィー
合計工程時間 (Hr)	3.4	3.4
サイクル数	1	1
カラム径 (cm)	60	30
カラム容量 (L)	57	14
バッファー消費量 (L)	1,865	466

カラムを小さくできる

バッファーも少なくできる

* ベッド高：20cm、線速：300cm/Hr、動的結合容量：最大30g/L、Titer：0.4g/L

** 5倍濃縮、濃縮液流速：12LMH

お問い合わせ

詳しい内容につきましてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

【バイオフィーマ事業部】 TEL.03-6386-0995